

生成AIを使って一度にまとめて英文添削する方法 [改訂版]

2024年12月現在 / 小林良裕

ここでは、自分が生成AIとエクセルを用いて、1クラス分程度の英作文（自由英作、和文英訳、要約英作文など）を10分ほどで添削し、結果を返却用に印刷している方法を説明します。

【出来るようにすること】

- ・ 1 クラス約40人の英作文の提出物を、約10分で添削処理して個別返却用の紙を印刷する。

[添削できる英文の種類] 自由英作文の添削から、和文英訳の添削、英語ディベートといった特定の型に沿ったスピーチ原稿の添削、英文要約の添削まで。

【出来るようになるための時間】

- ・ 誰かやり方を分かっている人が近くにいて操作のサポートをしてくれるなら、30分ぐらいで最低限できるようになります。ゼロから学ぶなら、1～2時間ぐらい必要かも。

【必要なもの一覧（使い方の詳細は以下で）】

- a) 生成AIのAPIキー（Google社のGemini、OpenAI社のChatGPT、または Anthropic社のClaudeいずれかのAPI）
- b) Microsoft Forms または Google Forms（生徒から英作文を回収するために使います）
- c) Excel（アドインが入れられるもの。デスクトップのExcelであれば使えます）
- d) Excel上で生成AIを関数として使えるようにするアドイン（具体的な種類は以下で説明）
- e) Word（差し込み印刷を使います）
- f) PDFファイルを操作できるソフト（印刷の際に用います）

以下では、Part1でまず生徒の自由英作文を添削処理して印刷するまでの流れを導入します。Part 2では、導入した処理の流れを踏まえて、和文英訳や英検の英語要約問題といった、自由英作文以外の添削の方法を紹介します。

*日々、生成AI関連の新しいサービスが増えて、また更新されています。ここにまとめた内容を手掛かりに、興味があればいろいろご自身で調べてみて下さい（自分も生成AIの「専門家」ではなく、ただの利用者の1人として手探りでいろいろ試しています）。

■ PART 1. 生徒の自由英作文を添削する

生成AIを使って、自分が生徒から英作文を集め、添削・返却している方法は、以下の7つの手順を組み合わせたものです。

【7つの手順】

- 1) 生成AIのAPIキーを取得する。
- 2) Excel上で生成AIを利用するためのアドインを追加する。
- 3) 添削用のExcelシートを用意する。
- 4) Forms上から生徒の英作文を回収する。
- 5) Excelシート上に生徒の英作文をコピーして添削処理

- 6) WordからPDFに差し込み印刷
- 7) PDF上で確認した上で、紙に印刷

■手順 1 生成AIのAPIキーを取得する

ここでは生成AIのAPIキーを取得する方法を説明します。より具体的な取得方法は「生成AI API」で検索すると、登録の方法など説明している日本語サイトも見つかると思います。

*APIキーを取得しなくても、EXCEL上で生成AIを使えるようにするアドインもありますが、知識として知っておいても良い内容をまとめました。

*手順 1 と手順2で、幾つか生成AIとExcelアドインの組み合わせの選択肢が出ますが、自分のおすすめは、生成AIは Claude、アドインは「生成AIツール」の組み合わせです。

- ・APIは、Application Programming Interfaceの略、直訳すると「アプリケーションを連携する仕組み」です。生成AIの機能を他のアプリケーションソフトで使うときに、そのAPIキーが必要になります（利用者個々に発行されるパスワードのようなものです）。
- ・APIキーは、ネット上で流出させると、知らない人に色々使われて料金が発生する可能性があるの
で、管理には注意が必要です。
- ・必要となる APIキーは、例えばChatGPT社の公式のウェブサイト上で、有料でサービスを利用する場合に必要なID・パスワードとは別です。APIキーは、ウェブブラウザ上で使っている機能を、別のアプリで使えるように連携させるための認証で用います。
- ・APIキーの取得には、どの社でも基本的にクレジットカードの登録が必要です。

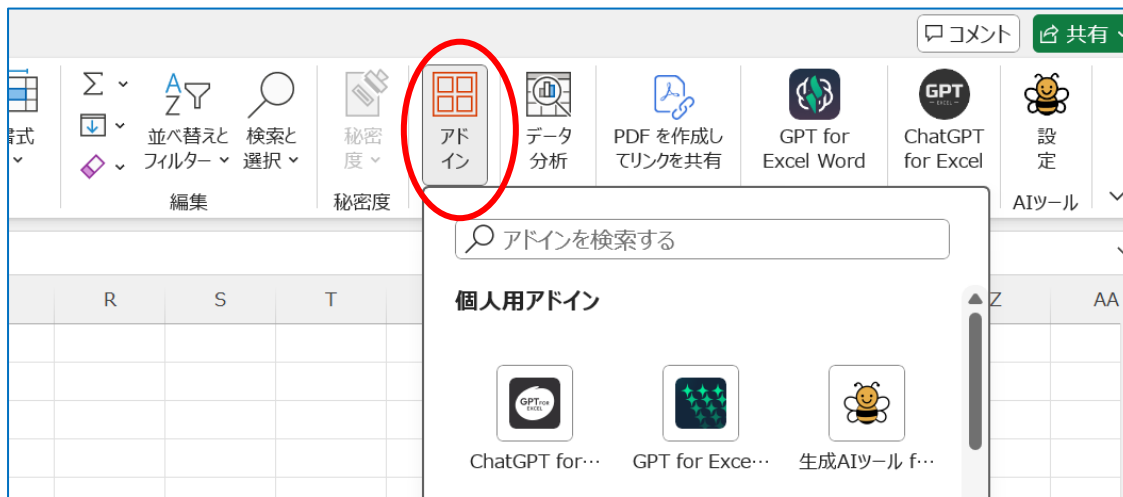
【どの生成AIのAPIキーを取得するか】 （初めて登録すると、幾らか無料の枠がもらえます）

- ・ChatGPT：登録方法が比較的わかりやすく説明サイトが多いので、最初に使うのがいいです。
- ・Claude（「クロード」と読みます）：登録の仕方やその後の使い方は ChatGPTのそれと変わりません。ChatGPTで少し慣れたらこちらに移ると良いと思います。
- ・Gemini：利用する際の価格が安く（無料の枠が大きいです）、Googleアカウントがあれば取得できます。ただし、有効化させる手続きが少し分かりにくいかも。

- ・APIの利用料金について。自分は毎月1000件～2000件程度の添削に、ClaudeのAPIを使っていますが、だいたい請求は1カ月で10ドル程度です。利用前に利用枠を購入する必要があり、20ドル分ごとに購入しています。どのAIモデルを用いるかで、個々の利用での料金が変わります。
- ・利用料金の支払いはクレジットカード決済になるため、校費での支払いはほぼ無理だと思います。
自分も、毎月数十ドルで生徒の添削ができるならと自費で払っています。

■手順2 Excel上で生成AIを使えるようにするアドイン・拡張機能を有効にする。

- ・Excel上で、生成AIの機能を関数として使用するための拡張機能を追加します。Excelでは、画面上のメニューの一覧（リボン）の、「アドイン」ボタンを押すと、Microsoft以外の会社が作成して公開されている拡張機能のサービスが検索できます。
- ・以前は Google Sheetも自分は添削で使っていましたが、この1年間はExcelだけを利用しています。そのため、以下の説明では、Google Sheetを用いた場合での説明は省いています。ただ、同様のサービスは Google Sheetでも「拡張機能」という名前で利用可能です。



- ・エクセル上で ChatGPTをはじめとした生成AIを関数として使えるようにする拡張機能は、様々にあります。例えば自分が使っていたもの、今使っているものは以下のものです（上の「アドイン」の内部で検索するとすぐ見つかると思います）。

[以前使っていたもの（今もサービスは利用可能です）]

- **「ChatGPT for Excel」**

- ・ [毎月、約 6 ～ 8 ドルの課金が必要。ただし、APIの利用料を込みで支払えるので、APIの手続きが面倒であればこちらを使っても良いと思います。
- ・ 基本的に、生成AIの種類の中でChatGPTを関数としてExcel上で使うためのものです。

[今使っているもの（課金なしでも使えるのでおすすめ）]

- **「生成AIツール」**（株式会社ビジー・ビー / 蜂をシンボルにしているみたいです）

- ・ このアドインは利用料が無料です。ChatGPTだけでなく、Gemini と Claudeも併用することが出来ます。
- ・ 自分が試した中で、日本語の出力が一番自然で、文法ミスの説明が生徒向けだと感じたClaude を使いたかったので、このアドインを使っています。（Claudeを扱えるアドインは少なく、自分が初めて見つけたのがこれでした）。

- * 1つのアドイン、1つの社の生成AIでの処理に慣れたら、時間があるときに別のものも試してみると良いと思います。どのアドインでも、ある時アップデートに不都合が発生して数日使えなくなる可能性もあります。自分も、上の「生成AIツール」と Claudeの組み合わせで使っていましたが、ある時 Claudeが上手くアドインで読み込めなくなったため、Gemini のAPIでしばらく代用してその場をしのぎました。

- ・ それらの生成AIと連携するアドインの機能を有効にする際に、手順1で入手した 生成AIのAPIを入力するよう求められます。
- ・ 使っているアドインによっては、エクセルファイルにこのAPIキーが埋め込まれる場合もあるので、有効にしたファイルを他の人に渡す際には注意が必要です。APIキーがファイルではなく、エクセル本体に保存されていて、ファイル自体のやり取りでは安全なアドインもあります。

- ・APIキーは、生成AI各社のサイトにて必要になればすぐに停止、再発行が出来ます。

■手順3 Excel と生成AIの準備・動作確認

- ・それぞれのアドインで追加された生成AIを使う関数を、各アドインで指定されている構文で関数を作成します。また、生成AIに読ませるプロンプトを作成します。以下では、上述の「Chat GPT for Excel」を使った場合と、「生成AIツール」を使った場合のやり方をそれぞれ説明します。
- ・おすすめは[例2]のやり方ですが、「例1」のやり方がより単純な方法なので、まずは[例1]の内容を簡単に一読してみてください。また、エクセルとワードの実例を用意してありますので、そちらも適時参照してください。

●[例1] Chat GPT for Excel (とChatGPTのAPI)を使った使用例

⇒ エクセルファイル・ワードファイルの例：「例A～」

[ざっくりした説明]

いろいろ添削の指示を詰め込んだプロンプトと、生徒の書いた英文を、別々のセルに入れたまま、生成AIにその2つのセルを読み取らせます。プロンプトと生徒英作文が以下のキャプチャー画面で赤で、GPT for Excelの関数の場所が青で示されています。ここで使っている生成AIは、ChatGPTです。

[例] GPT for Excelの関数の書き方

=AI.ASK(prompt, [value],[temperature], [maxTokens], [model])

⇒ value は prompt の後に任意で加えられる文字列

	A	B	C	D	E	F	G	H	I
1	prompt	クラス	番号	氏名	トピック	英文	添削結果		
2	You are a professional teacher				[イ] The	I agree wi	Revised Passage: As we use the Revised Passage:		

- ・上のエクセルの例では、promptのところに絶対参照として、A\$2 のセルを指定しています。A2のセルにはプロンプトを入れます。[value]として、生徒の書いた英文を入れたセル(ここではF2)を指定します。
- ・Temperature, maxTokensのパラメーター自体が何かについては ChatGPT自体の説明を検索して探してください。Modelは、ここで指定しなくても、拡張機能自体で一括して指定できるのでここでは入力していません。

- ・上の例では、G2のセルをドラッグして下にコピーしていけば、それぞれとなりのセルの英文を添削して結果を表示するセルが複製できます。
- ・上の例のプロンプトは以下のものです（1年半ほど前に自分が生成AIを使い始めたころに用いていたものです）：

You are a professional teacher of English. You will check the English grammar of the following passage and revise it. First, please show your revised passage. After that, I want you to make a detailed list of how you fixed it and why. In addition, add some positive feedback on the original passage with focus on its contents. Please do not use difficult vocabulary when you revise the passage, as this passage was written by a Japanese learner of English.

（特に上のプロンプトがベストだ、というわけではありません。いろいろ試してみて、添削指示を1つにまとめたプロンプトではこのようなものがある、という例です。このプロンプトでは、出力は英語になります。高校1年生ぐらいでは、出力されたものが英語だと、読んでくれない生徒もいます。
- ・具体例のファイル（「例A～」）では上の1つのプロンプトを、「文法評価」「内容評価」「添削」の3つに分けて、それぞれ別々に添削処理をしています。そのため、上記のセル配置とは少し異なっています。

●[例2] 「生成AIツール」と ClaudeのAPIを使った使用例

【ざっくりした説明】

⇒ エクセル・ワードファイルの例：「例B～」

生徒の書いた英文に対して、内容面や文法面など異なるプロンプトで複数回、添削処理をします。「生成AIツール」では、1つのセルの入力しか受け入れないので、プロンプトと生徒の英文を1つのセルにまとめてから、関数に参照させる必要があります。基本的には例1と同じ手順ですが、少し複雑になっています。全体の添削処理の流れも少し説明します。

【生徒からの英作文の回収方法】

- ・Microsoft Forms またはGoogle Formsで、生徒に<学年><組><出席番号><氏名><英作文のトピック><英作文本体>を提出させます。生成AIに送ることになるデータは、<英作文本体>になります。後で返却する時のために、添削処理を行う前に、ダウンロードしたファイル上で<組><出席番号>で、回収したデータを並べ替えておくといいです。

【「生成AIツール」の設定】

- ・「生成AIツール」アドインの全ての機能については、アドイン内の解説を参照してください。今回の様に英作文の添削のために使う場合では、アドインの設定画面から、最低限以下の操作を事前に行っておけば大丈夫です：
 - ① 取得した生成AIのAPIキーを入れる。（スクリーンショットでは、GeminiとClaudeにAPIキーを入れています）
 - ② 用いる生成AIのモデルを選ぶ（画面写真では、Claude 3.5 Sonnet を選んでいます）
 - ③ 動作設定を入力します。AIの人格的な役割設定で、ここでは“You are a helpful

teacher.”と入れてあります。

④ 生成温度の設定を決めます。添削処理のたびに違いすぎるコメント・評価が返ってくると生徒が困惑するので、低めにしています。

⑤最大出力長を決めます。

トークン量（大まかに言って生成AIの返事の長さ）は、長すぎると返事が中々出力されなかったり、課金額が大きくなります。その一方で、最大トークン量が少ないと、返事の途中でぶつ切りになってしまいます。英作文の添削という用途では、1000トークンあれば、回答の途中でメッセージが切れてしまうことはほぼないので、自分は1000にしています。

生成AIツール

文A 日本語

APIキーの設定

AIツール for Excelを使うには、少なくともひとつのサービスでAPI用の秘密鍵（secret key）を作成し、下の欄に設定してください。

ChatGPT(OpenAI) APIキーの取得

秘密鍵（通常は「sk-」で始まります）

Gemini(Google) APIキーの取得

.....

削除

Claude(Anthropic) APIキーの取得

.....

削除

秘密鍵はファイル内に保存されませんので、このファイルを他の人に送っても安全です。

AIモデルによって出力品質や費用は異なります。品質と費用がバランスするよう、利用目的に沿ってモデルを選び、設定を変更してください。

モデル

claude-3-5-sonnet-latest

AIモデルを選んでください。

動作設定

You are a helpful teacher.

システムレベルのAIの挙動を設定できます。「You are an assistant that speaks like Shakespeare.」「あなたは夏目漱石のような口調のアシスタントです」など、役割を具体的に設定するとよいです。

生成温度

20 度

次のトークンを生成するときの温度（0～100、1刻み）を指定します。温度が低いほど変化に乏しく、高いほど変化しやすくなります。既定値は25です。ここで設定した生成温度は、各社のAPI仕様に準拠する値に変換されます。

最大出力長

1000

生成するトークンの最大長（10～65,535、1刻み）を指定します。既定値は100です。

[画像は]「生成AIツール」の設定画面

【用いる関数】

「生成AIツール」の関数の書き方（関数名が B.B.なのは会社の名前が Busy Bee だから？）
=BB.ASK(セル指定)

[他に必要な関数] CONCAT(,)
(複数のセルの文字列をつなげる関数です)

[例] =CONCAT(\$A\$9,J5)

*上の例では、絶対参照でA9のセル（ここに仮にプロンプトが入っているとします）と、仮に生徒の書いた英作文の場所であるJ5のセルを結合して1つのセルにします。この<プロンプト + 生徒の書いた英文>のセルを BB.ASKに参照させます。

【プロンプトの例】

使用例では、「内容についてのフィードバック」「文法面での修正についてのフィードバック」「文法評価についてのフィードバック」の3種類のプロンプトを使っています。1つの英文について、別々に3回、添削処理をしていることになります。

①[内容についてのフィードバック] (例ではA3のセルに入っています)

あなたは優秀な英語の先生です。生徒が以下の英文を書きました。内容について、この英文を書いたこの特定の生徒がやる気を出せるようなコメントを日本語で書いて下さい。コメントはそのまま生徒に渡すので、その点に留意して書いてください。英文は次の通りです：

② [文法面での修正についてのフィードバック] (例ではA6のセルに入っています)

あなたは優秀な英語の先生です。日本の高校生の英語学習者が以下の英文を書きました。この英語の文章内の、文法的間違いを指摘して訂正してください。またコメントは、生徒にそのまま返却しますのでその点を配慮してコメントを書いてください。英文は次の通りです：

③[文法評価についてのフィードバック] (例ではA9のセルに入っています)

あなたは英語教師です。生徒の書いた英作文を、文法的正確さの観点だけに注目し次のAからDの4段階で評価し、その英作文がAからDのどれに該当するか答えて、その根拠を日本語で100語程度で説明して下さい。参照すべき評価基準はこれです：「評価A 本文の修正が不要、またはエラーが1～2個あっても意味の読み取りに支障が無いエラーであり、伝えたい内容が明快に理解できる」「評価B 全体で3カ所以上の修正が必要、あるいは意味内容に関わるエラーが1つ程度である」「評価C 数個の節ごとに1つの修正が必要であるか、複数の意味内容に関わるエラーの存在によって、伝えたい内容の理解に部分的に困難が生じている」「評価D 全体的に修正が必要であり、伝えたい内容の理解が困難である」。評価をしてほしい英作文は以下のものです：

【Excelのシート上のセルの配置】

- Excelのスクリーンショット例では、A列にプロンプト、B～Dで3つのプロンプトと生徒の英作文をそれぞれCONCAT関数で結合しています。生徒の英作文は、Jの列に入っています。K～M列には生成AIの関数が入っています。
- 生徒から提出を受けたデータを入れるのがE～J列です。英作文以外のデータは、返却用の印刷で差し込み印刷をする際に参照させます。
- 総語数のカウント用の関数がN列に入っています。エクセルには文字数カウント専用の関数はないので、代わりに語と語の間の半角スペースの数を数えることで、総語数を出しています。

【添削の処理の流れ】

- 生徒の英作文を、準備したエクセルシートにコピペすると、以下の順番で処理が自動で進んでいきます。

[Step 1] <生徒の英作文> がExcelシート上にコピペする。

[Step 2] <プロンプト> と<生徒の英作文>がCONCAT関数で新しく 1 つのセルにまとまる。

[Step 3] Step 2の作業が、3つのプロンプトに対して行われる。

[Step 4] <プロンプト+ 生徒の英作文>のセルを、生成AIの関数が参照する。

[Step 5] Step 4の作業が、3つの<プロンプト + 生徒の英作文>のセルに対して行われる。

[Step 6] しばらくして、生成AIの関数が処理を終えて回答が各セルに出てくる。

- 用いるAIモデルによって、添削処理にかかる時間が異なります。Geminiのあるモデルでは、40ほどのセルに同時に処理をさせても、数秒で処理が終わりました。Claude 3.5 Sonnetの場合は、20のセルに同時に処理させると、5秒～10秒ほど終了までかかります。
- 一度に多くのセルを処理させると、全体が busy 状態になって先に進まない場合があります。そのため、20ほどのセルごとに適当に区切って、処理が終わるごとに自分は次のセル群に進んでいます。スクリーンショット上のK～M列について、はじめは5行だけ関数を入れておいて、処理が終わってから生成AIの関数を下にドラッグコピーして処理を継続させています。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	プロンプト	結合(A3内容	結合(A5文	結合(A9評	学年	クラス	番号	氏名	トピック	英文	回答(内容について	回答(英文法の修	解答(英文法評	総語数
2		あなたは優秀	あなたは優秀	あなたは英	高校1年	1	1	ザネリ	2. You sh You shoul	生徒さんへのコメン	こんにちは。あな	評価：A根拠説明		37
3	あなたは優秀	あなたは優秀	あなたは優秀	あなたは英	高校1年	1	2	やまねこ	2. You sh Keeping a	生徒さんへのコメン	こんにちは。あな	評価：B根拠説明		32
4		あなたは優秀	あなたは優秀	あなたは英	高校1年	1	3	喜助	2. You sh If you kee	生徒さんへのコメン	こんにちは。あな	評価：B根拠説明		34
5		あなたは優秀	あなたは優秀	あなたは英	高校1年	1	4	小狐	2. You sh You shoul	生徒さんへ猫につい	生徒さんへのフィ	評価：B根拠説明		35
6	あなたは優秀	あなたは優秀	あなたは優秀	あなたは英	高校1年	2	1	山猫博士	2. You sh Keeping a	生徒さんへ猫への愛	生徒さんへのフィ	評価：C根拠説明		38
7		あなたは優秀	あなたは優秀	あなたは英	高校1年	2	2	かまねこ	1. You sh should to	生徒さんへのコメン	生徒さんへのフィ	評価：C根拠説明		42
8	文法評価	あなたは優秀	あなたは優秀	あなたは英	高校1年	2	4	ブドリ	1. You sh Toky Gak	生徒さんへのコメン	生徒さんへのフィ	評価：B根拠説明		38
9	あなたは優秀	あなたは優秀	あなたは優秀	あなたは英	高校1年	2	9	どんぐり	2. You sh You shoul	生徒さんへ猫の魅力	生徒さんへのフィ	評価：B根拠説明		35
10		あなたは優秀	あなたは優秀	あなたは英	高校1年	3	1	熊の親方	3. You sh You shoul	生徒さんへのコメン	生徒さんへのフィ	評価：C根拠説明		38
11														

■手順4 Microsoft forms (google formsでも)で生徒から解答を回収する。

- 手順3までで、エクセルシートの準備と動作確認が済みました。次の手順として、実際に英作文を生徒に書かせて、Microsoft forms 上または、Google Forms から回収します。例えば簡単な例として以下に回収用の Microsoft Formsを示します。

* 必須

1. クラスを選んでね * 

答えの選択

▼

2. 出席番号を選んでね * 

答えの選択

▼

3. お名前をアルファベットで教えてください(Family / First の順番で, 例えば Kobayashi Yoshi) * 

回答を入力してください

4. 英作文の Topic を選んでください。 *



☐ 日記・1 日目
 ☐ 日記・2 日目
 ☐ 日記・3 日目
 ☐ 日記・4 日目
 ☐ New Year's Resolution (新年の決意)

5. 指示に従って日記を書いてね (or 別のアプリで書いたものをコピーしてね) 。 *



回答を入力してください

- ・個人情報の扱いについて留意してください。生成AIには添削のために、生徒の英作文データを送ることになります。生徒が練習で書いた英作文のデータを外部に送信することについては、各学校・地域ごとの方針に従ってください。

■手順5 英文のコピペと添削処理

- ・手順3で用意したファイルのセルに、生徒から回収した情報の必要な部分をコピペします。
- ・上手いければ、数分で40人程度の英作文（80語程度）の添削が終わります。
- ・これまで自分が経験した、上手くいかない場合としては、以下のものがあります：

① 処理中の表示が延々と続いていて、終了しない。

ある程度の時間が、データを送ってから経ったけれども、返信が無かった場合エラー表示になります。使っている拡張機能ごとに、エラーの表示が異なります。たとえば、GPT for Excel では何度か試したけれども、上手くいかなかったら最終的に「0」の表示になります。そんな場合、関数を上書きするなどして、再試行させます。

用いる生成AIのモデルごとに、一度に処理できるセルの数が異なります。一度に多くの処理をリクエストしてしまったため、処理が進まない（処理をリクエスト、中断、再試行を延々と繰り返している）こともあります。この様な場合、処理は終わらないのだけれども、APIの従量課金だけ増えていて、お金をずいぶん無駄にしまう可能性があります。生成AIのモデル

ごとに、一度にどれだけ処理をリクエストしても大丈夫か、少しずつ一度に処理させる量を増やすなどして確認してみてください。

② 生成AIのアドインが開かない・動作しない。

アドインのボタンをもう一度触ってみたり、Excelファイルを一度閉じてもう一度開いたりすると上手くいくことがあります。それでも上手くいかなければ、心を落ち着けて数日放置して様子を見る、という対応もあり得ます。生成AIがアップデートしたため、アドイン側でその対応中という場合もあります。Claude が使えなければ、機能している別の APIを使ってしばらく様子を見る方が、あれこれ試して時間を浪費するよりも（精神的に）いい場合もあります。

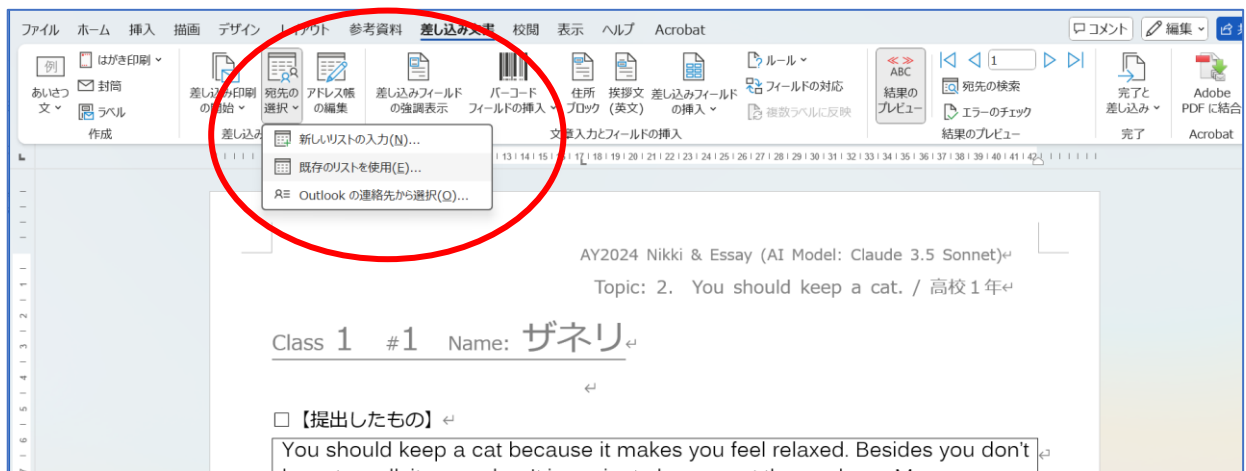
③ 関数のコピペが変になってしまった。関数で参照するセルがズレてしまっている。

参照するセルが、ドラッグコピーの操作ミスでずれてしまうこともあります。

■手順6 Wordで差し込み印刷

最後に、Word の差し込み文章機能を用いて、添削データの入ったエクセルファイルからデータを読み取って印刷します。差し込み印刷自体は、住所の宛先の印刷などで一般的に利用されている機能です。やり方がわからなければ、ネットで検索すると詳しいやり方の説明が分かると思います。

印刷の作業では、初めから紙に印刷せずに、まずは「Microsoft Print to PDF」などで PDF に出力して目で確認してからの方が安全です。直接紙に印刷しようとすると、プリンター側の不具合で（紙切れなど）やり直しをする場合に、少し面倒です。また、どのような添削になったのか、後で確認するために、手元にまずは PDF の形で残しておいた方がよいでしょう。



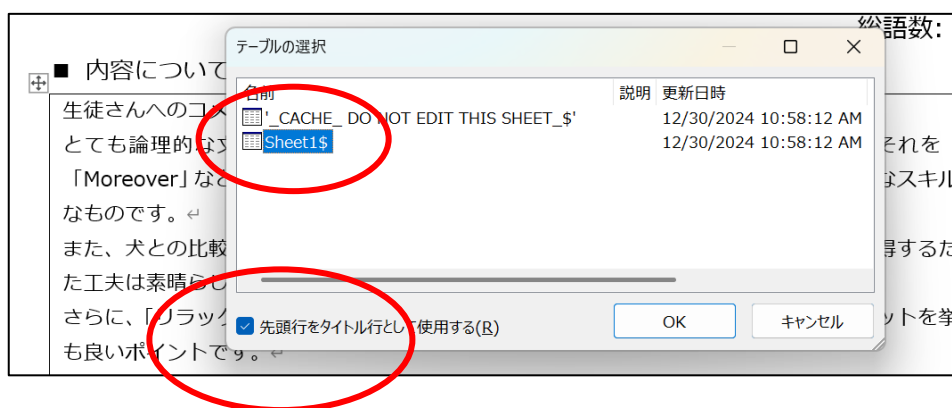
【差し込み印刷の手順】*ここでは、例 B のファイル群を用いて印刷手順を説明します。

[Step 1] エクセルファイルを閉じます。OneDrive などクラウド上で作業している場合は、同期終了まで待っていた方が安全です。

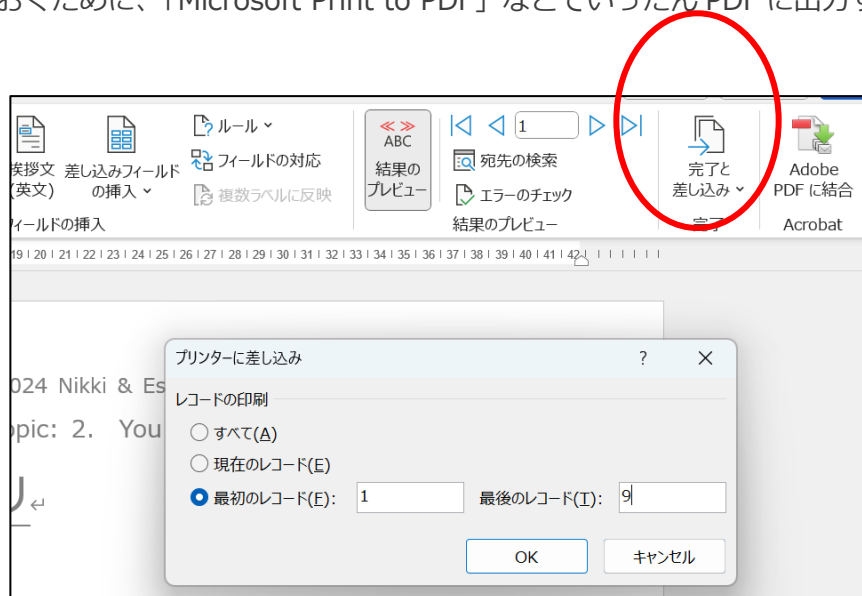
[Step 2] 用意していた差し込み印刷用の Word ファイルを開きます。「SQL コマンドが～」と表示が出ますが気にせず続行します。

[Step 3] Word のリボン（画面上部の様々な設定やメニューが表示されている場所）の「差し込み印刷」から「宛先の選択」「既存のリストを使用」を選びます。そこから、添削処理をした Excel ファイルを選びます。「テーブルの選択」が出たら、「先頭行をタイトル行として使用する」にチェックを

入れて、「Sheet1」を選んでください。



[Step 4] 上手く読み込めると、どれかの行のデータが入った結果が表示されます。結果のプレビューで確認した上で、「完了と差し込み」で印刷します。印刷設定では、「すべて」を選ぶと、意図せず消し忘れていたデータが部分的に入っていた行まで無駄に印刷してしまうこともあるので、結果のプレビューで確認した最後のレコードまで指定して印刷するといいです（慣れてきたら「すべて」でも）。上でも述べましたが、プリンターの不具合で紙の印刷をやり直す場合や、後の確認用にデータを残しておくために、「Microsoft Print to PDF」などでいったん PDF に出力するのが安全です。



■手順7 PDFから紙に印刷

紙への印刷では、A4 で印刷すると生徒には大変不評でした。1 ページにおさまる添削物であれば、B5 で印刷すると生徒がファイリングしやすいです。

自由英作文の添削は、だいたい2 ページの分量になると思います。印刷は、「B4 用紙・1 枚に2 ページ」の設定がちょうど良いです。ただ、生徒への添削が3 ページにわたっているものがあると、ずれてしまいます（1 枚の紙に、1 ページずつ2 人の生徒のものが入ってしまいます）。そのため、1 人への返却ページが2 の倍数になるように、必要であれば白紙ページを挿入して調整してから印刷します。

以上が、生成 AI を利用して1 クラス分の自由英作文の添削を（上手くいけば）、5 分～10 分で処理するための方法になります。

■ PART 2. 自由英作文以外の様々な英作文を添削する

ここまで、生成 AI を使って自由英作文を添削する方法を紹介しました。生徒からの解答を回収する Forms の質問を工夫したり、エクセルのセルの配置を工夫することで、自由英作文以外の添削も可能です。以下では、1) 和文英訳問題の添削、2) 2024 年度から英検でも始まった英文要約の添削、3) 英語ディベートの立論といった特殊な原稿の添削の方法を扱います。

以下の例示では、生徒からの解答の回収では Microsoft Forms、**エクセルのアドインとして「生成 AI ツール」、生成 AI は Claude** を使います。

■ 1) 和文英訳の添削

⇒ エクセル・ワードファイルの例：「例 C～」

- ・まず Microsoft Forms 上の準備として、解答させる和文英訳問題の日本語を選択肢として入れておきます。以下の Forms の例では 4 番目の質問にあたります。
- ・Excel 上では、<和文英訳を添削させるプロンプト> <和訳させる日本語> <生徒の解答>を 1 つのセルにまとめて、生成 AI の関数に読み取らせます。

[WS用]
和文英訳・添削例

* 必須

1. クラスを選んでください。* 

答えの選択 

2. 出席番号を選んでね * 

答えの選択 

3. お名前をアルファベットで教えてください(Family / First の順番で、例えば Kobayashi Yoshi) * 

回答を入力してください

4. 解答する問題を選んでください。
・選んだ問題の日本語を訳して解答して下さい。* 

☐ [1回目] さようは風がとても強いですね。でも、こんな日は空がとても澄んでいます。

☐ [2回目] 何も心配することはありませんよ。このお店は、どんなお客様でも大歓迎ですから。

☐ [3回目] ゴーシュ(Gauche)さん、あなたはまだ音楽の本当の力を知らない。それは、聴く人の心を揺さぶり、慰め、勇気づける力です。あなたもいつわかるでしょう。

☐ [4回目] 雨にも負けず、風にも負けず、そうやって生きていく人こそが本当の強さを持っています。

5. 問題の解答を入力してください。
* 

回答を入力してください

- ・Excel の例では、A3 のセルに以下のプロンプトを入れています。

あなたは優秀な英語の先生です。生徒がある和文英訳の問題を解き、解答の添削を求めています。その解答について詳細に添削し、箇条書き形式で修正内容を説明してください。また生徒がやる気を出せるようなコメントを少しください。添削とコメントはそのまま書いた生徒に渡すので、書いた相手と呼称するときは「生徒さん」ではなく「あなたは」などの親しみのある表現を使って下さい。和文英訳の問題の日本語文は次の物です：

- ・この A3 のセルを絶対参照させて、生徒が選んだ設問である J 列の<和訳させる日本語>と B 列の CONCAT 関数で 1 つの文字列につなげます。
- ・B 列のセルの内容に、C2 のセルを絶対参照でつなぎにして、K 列の<生徒の解答>を D 列の CONCAT 関数で加えます（このあたりの関係は、エクセルシートの実例で確認してください。もっとシンプルにセルを整理する方法もあるかもしれません）。
- ・C2 のセルには以下の日本語が入っています：
[。そして生徒の書いた解答は次の英文です：]
- ・最後に、<プロンプト><設問の日本語><生徒の解答>が入った D 列のセルを、L 列の生成 AI の関数に参照させます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1	プロンプト結合(指示と和文)		結合(生徒の解答を加え	学年		クラス	番号	氏名	トピック	英文		回答（和文英訳の添削）
2		あなたは優秀。そして生徒	あなたは優秀な英語の	高校	2年	3	1	イタチ	[1回目] きょう	It is quite	添削結果をお伝えします	
3	あなたは優秀。そして生徒	あなたは優秀な英語の	高校	2年	3	3	オコジョ	[1回目] きょう	The wind	添削結果と解説をお伝え		
4	あなたは優秀。そして生徒	あなたは優秀な英語の	高校	2年	3	12	ハリネズミ	[2回目] 何も心	There is r	添削結果をお伝えします		
5	あなたは優秀。そして生徒	あなたは優秀な英語の	高校	2年	4	22	三郎	[2回目] 何も心	Don't wor	添削とアドバイス：1. 「		
6	あなたは優秀。そして生徒	あなたは優秀な英語の	高校	2年	4	25	猫の議長	[3回目] ゴーシ	Mr Gothe	添削内容を以下に示しま		
7	あなたは優秀。そして生徒	あなたは優秀な英語の	高校	2年	5	23	銀ぎつね	[3回目] ゴーシ	Gauche-s	【添削内容】 1. "Gauche		
8	あなたは優秀な英語の先	あなたは優秀な英語の	高校	2年	6	2	大きな熊	[4回目] 雨にも	There are	添削結果をお伝えします		

- ・印刷の手順は、Part 1 の自由英作文の場合と変わりません。もちろん、和文英訳に差し込み印刷用のワードファイルを用意する必要があります。差し込み印刷用のワードファイルの例も用意しましたので、そちらも使って操作を練習してみてください。
- ・生徒に解答させたい和文英訳問題は、Microsoft Forms の設問の選択肢を増やしていくことで、どんどん種類を増やしていくことができます。
- ・特定の構文を使うように指示することも、設問の選択肢の末尾に指示を加えておくことで、生成 AI もそれをある程度踏まえて添削してくれます。
- ・和文英訳の添削では、前後の文脈がないため、たとえば「お店」「お客さん」という語をどう英語に訳すか生成 AI では判断できず、ある程度割り切った解釈で添削されることがあります（添削例での、「2 回目の問題」の AI の添削を読んでみて下さい）。生成 AI が添削したものを人間の先生が目を通した上で、補足の説明を生徒にするのが良いのではと思います。

■ 2) 英文要約の添削

（以下の説明に対応するエクセルシート例・ワードファイル例は用意していません）

- ・2024 年度の英検から導入された英文を読んで、英語で要約させる要約問題ですが、生徒の解答をまとめて生成 AI に添削させることも、これまで確認した手順の応用で可能です。生徒の解答 1 つに対して、以下の 3 つの文字列をまとめたセルを CONCAT 関数で作ри、それぞれ生成 AI の関数に参照させます。

- ① <要約英作文の内容評価用プロンプト + 模範解答><生徒の解答>
- ② <要約英作文の文法添削用プロンプト><生徒の解答>
- ③ <要約英作文のパラフレーズ例示用プロンプト><生徒の解答>

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P
1	プロンプト結合(A3内容結合(A5文結合(A9)バ				学年	クラス	番号	氏名	トピック	英文	回答(内容について回答(英文法の修	回答(パラフ	ーズ)			総得点
2	0回目	あなたは優秀な英語の先生です。生徒がある英文の要約を書き、提出しました。その生徒の書いた要約内に、模範解答内(または採点基準)の情報がどれだけ含まれているか<要約問題ごとに、採点基準を入れます。模範解答をそのまま入れても生成AIが判断してくれま	す>を[A, B, C, D]の4段階で評価し、生徒がやる気を出せるようなコメントをください。コメントはそのまま書いた生徒に渡すので、書いた相手を呼称するときは「生徒さん」ではなく「あなたは」などの親しみのある表現を使って下さい。生徒の解答は以下の通りです:		高校3年				導入問題	One day, 評価: A (4つの要点あなたの英文を、まず文法的な修正点を挙げさ						66
3	あなたは優秀な英語の先生です。生徒がある英文の要約を書き、提出しました。その生徒の書いた要約内に、模範解答内(または採点基準)の情報がどれだけ含まれているか<要約問題ごとに、採点基準を入れます。模範解答をそのまま入れても生成AIが判断してくれま	す>を[A, B, C, D]の4段階で評価し、生徒がやる気を出せるようなコメントをください。コメントはそのまま書いた生徒に渡すので、書いた相手を呼称するときは「生徒さん」ではなく「あなたは」などの親しみのある表現を使って下さい。生徒の解答は以下の通りです:		高校3年					導入問題	In the ver 評価: B[評価の根拠あなたの英文を、まず文法的な修正点を、1. "a vario						48
4	あなたは優秀な英語の先生です。生徒がある英文の要約を書き、提出しました。その生徒の書いた要約内に、模範解答内(または採点基準)の情報がどれだけ含まれているか<要約問題ごとに、採点基準を入れます。模範解答をそのまま入れても生成AIが判断してくれま	す>を[A, B, C, D]の4段階で評価し、生徒がやる気を出せるようなコメントをください。コメントはそのまま書いた生徒に渡すので、書いた相手を呼称するときは「生徒さん」ではなく「あなたは」などの親しみのある表現を使って下さい。生徒の解答は以下の通りです:		高校3年					導入問題	All the st 評価: A (4つの要素この英文の中で、文法的な修正点を、1. "were k						96
5	文法	あなたは優秀な英語の先生です。日本の高校生の英語学習者がある文章を読み、以下の通りに英語でその要約を書きました。この英語の文章内の、文法的間違いを日本語で指摘して訂正してください。コメントはそのまま書いた生徒に渡すので、書いた相手を呼称するときは「生徒さん」ではなく「あなたは」などの親しみのある表現を使って下さい。生徒の英文は次の通りです:		高校3年					導入問題	In Toshin 評価: B(理由: 1]とこの英文についてあなたの英作文を添削し、						42
6	あなたは優秀な英語の先生です。日本の高校生の英語学習者がある文章を読み、以下の通りに英語でその要約を書きました。この英文全体を文法的なミスを日本語を用いて修正した上で、パラフレーズして下さい。パラフレーズ上のアドバイスも加えて下さい。コメントはそのまま書いた生徒に渡すので、書いた相手を呼称するときは「生徒さん」ではなく「あなたは」などの親しみのある表現を使って下さい。英文は以下の通りです:			高校3年					導入問題	There we 評価: A (4つの要点この英文には以下この英文を分析させていた						74
7		あなたは優秀な英語の先生です。日本の高校生の英語学習者がある文章を読み、以下の通りに英語でその要約を書きました。この英文全体を文法的なミスを日本語を用いて修正した上で、パラフレーズして下さい。パラフレーズ上のアドバイスも加えて下さい。コメントはそのまま書いた生徒に渡すので、書いた相手を呼称するときは「生徒さん」ではなく「あなたは」などの親しみのある表現を使って下さい。英文は以下の通りです:		高校3年					導入問題	Pudding v 情報の含有度評価あなたの要約文と文法的な修正点を、1. "did not						64
8	パラフ	あなたは優秀な英語の先生です。日本の高校生の英語学習者がある文章を読み、以下の通りに英語でその要約を書きました。この英文全体を文法的なミスを日本語を用いて修正した上で、パラフレーズして下さい。パラフレーズ上のアドバイスも加えて下さい。コメントはそのまま書いた生徒に渡すので、書いた相手を呼称するときは「生徒さん」ではなく「あなたは」などの親しみのある表現を使って下さい。英文は以下の通りです:		高校3年					導入問題	there ver 評価: A (4つの要点いくつかの文法的な修正点を挙げさ						73
9	あなたは優秀な英語の先生です。日本の高校生の英語学習者がある文章を読み、以下の通りに英語でその要約を書きました。この英文全体を文法的なミスを日本語を用いて修正した上で、パラフレーズして下さい。パラフレーズ上のアドバイスも加えて下さい。コメントはそのまま書いた生徒に渡すので、書いた相手を呼称するときは「生徒さん」ではなく「あなたは」などの親しみのある表現を使って下さい。英文は以下の通りです:			高校3年					導入問題	The stude 評価: B(理由: [この英文には以下この英文を分析させていた						57
10		あなたは優秀な英語の先生です。日本の高校生の英語学習者がある文章を読み、以下の通りに英語でその要約を書きました。この英文全体を文法的なミスを日本語を用いて修正した上で、パラフレーズして下さい。パラフレーズ上のアドバイスも加えて下さい。コメントはそのまま書いた生徒に渡すので、書いた相手を呼称するときは「生徒さん」ではなく「あなたは」などの親しみのある表現を使って下さい。英文は以下の通りです:		高校3年					導入問題	The pdd 情報量の評価: A (この英文は全体的な、文法的な観点から以下						109

- ・プロンプトの例としては以下のようなものがあります:

[要約英作文の内容評価用プロンプト] (スクリーンショットではA3に入っています)

あなたは優秀な英語の先生です。生徒がある英文の要約を書き、提出しました。その生徒の書いた要約内に、模範解答内(または採点基準)の情報がどれだけ含まれているか<要約問題ごとに、採点基準を入れます。模範解答をそのまま入れても生成AIが判断してくれま>を[A, B, C, D]の4段階で評価し、生徒がやる気を出せるようなコメントをください。コメントはそのまま書いた生徒に渡すので、書いた相手を呼称するときは「生徒さん」ではなく「あなたは」などの親しみのある表現を使って下さい。生徒の解答は以下の通りです:

[要約英作文の文法添削用プロンプト] (スクリーンショットではA6に入っています)

あなたは優秀な英語の先生です。日本の高校生の英語学習者がある文章を読み、以下の通りに英語でその要約を書きました。この英語の文章内の、文法的間違いを日本語で指摘して訂正してください。コメントはそのまま書いた生徒に渡すので、書いた相手を呼称するときは「生徒さん」ではなく「あなたは」などの親しみのある表現を使って下さい。生徒の英文は次の通りです:

[要約英作文のパラフレーズ例示用プロンプト] (スクリーンショットではA9に入っています)

あなたは優秀な英語の先生です。日本の高校生の英語学習者がある文章を読み、以下の通りに英語でその要約を書きました。この英文全体を文法的なミスを日本語を用いて修正した上で、パラフレーズして下さい。パラフレーズ上のアドバイスも加えて下さい。コメントはそのまま書いた生徒に渡すので、書いた相手を呼称するときは「生徒さん」ではなく「あなたは」などの親しみのある表現を使って下さい。英文は以下の通りです:

- ・和文英訳と違い、生徒に Forms で選ばせる問題種類の選択肢に設問全体(要約させる英文自体)または参照すべき採点基準を入れられないため、設問ごとにプロンプト部分を用意して、内容面での評価をさせています。授業で複数回、英語要約問題をやらせたければ、文章ごとにプロンプトを用意してエクセル上で指定する必要があります(この説明内容は、授業で実際に英語要約問題を実施してみると、「ああ、そういうことだよね」とお分かりになると思います)。
- ・英語での要約文作成では、できるだけ原文の表現をそのままコピーして使うことを避けるように指導されます。大学生レベルでは、剽窃にならないようにパラフレーズ指導を行います。高校生を対象とした指導では、「出来るだけ本文の表現をそのまま借用しないこと。3語(あるいは4~5語)以上連続して本文中の表現を使わないこと」という程度の指示が現実的だと思います。
生徒の書いた解答には、本文中の表現の借用が多く含まれているという前提で、ここでは生徒の解答を文法的に修正した上で、各文がどのようにパラフレーズできるのか例示するよう指示をしています。理想では原文を参照させて、原文と一致している生徒の解答の部分を直させるのが良いのですが、処理にかかるデータ量を踏まえて、生徒の解答自体をパラフレーズさせています。

■ 3) 英語ディベートのスピーチの添削

(以下の説明に対応するエクセルシート例・ワードファイル例は用意していません)

- ・英語ディベートの立論スピーチでは、政策論題の場合など文章構成がはっきり指定されている場合があります。その文章構成の型を踏まえて生成AIに文法だけでなく内容上も添削させることも可能です。
- ・例えば政策論題を用いた立論スピーチでは、「現状の問題の説明」「その問題の深刻性の説明」「政策によってどうその問題が解決されるかの説明」の3つの内容が含まれることが一般的に期待されます。それで、この3つの内容をそれぞれ別々に forms に入力させて、それぞれ期待される種類の内容説明になっているか生成AIに判断させて書き直しのアドバイスを出力させることも可能です。
- ・生徒に入力させる Microsoft Forms としては、以下のようなものを用意しておきます:

1. クラスを選んでね * 

答えの選択 

2. 出席番号を選んでね * 

答えの選択 

3. お名前をアルファベットで教えてください(Family / First の順番で, 例えば Kobayashi Yoshi) * 

回答を入力してください

4. 肯定側・立論スピーチのトピックを選んでください。 * 

☐ (1) The use of an ambulance should not be free, and you should pay 30,000 yen for every service.

☐ (2) Medical schools in Japan should accept equal number of male and female students.

☐ (3) All fathers should be made to take paternity leave for at least one year.

5. ◆冒頭部分

【以下の部分は入力する必要はありません】

Hello everyone. Today, I want to argue that <選んだトピックが入ります>. I have one reason to support my opinion.

【以下の文を入力してください（空所だけでなく1文すべて入力すること）】

・The reason is <適切な語句（名詞句）を自分で考えて入れること>.

【記入例】

<動名詞を使う場合>

The reason is making your friends feel happy.

<名詞句を使う場合>

・The reason is more enjoyment at school.

* 

回答を入力してください

6. ◆ Problem

We have a problem. <続く英文（文を区切って、複数の文で書いても構いません。以下同様）を以下の回答欄に入力してください>（目安・20-30 words 程度） * 

回答を入力してください

7. ◆ Solution

Then, if we introduce this plan, we can solve this problem as follows. <続く英文を下の回答欄に入力してください>（目安: 20-30 words 程度） * 

回答を入力してください

8. ◆ Importance

Why is this point important?

<続く英文を下の回答欄に入力してください>

* スピーチ最後の "For this reason, we should take this plan. Thank you." という文言は書かないでください。（目安: 20-30 words 程度） * 

回答を入力してください

送信

- ・上の Forms 例の通り、スピーチを複数のパーツに分けて生徒に書かせて、回収後の添削処理では、各パーツごとに内容面での指示を変えて生成 AI にチェックさせます。エクセルシート上のセルの配置は、これまで示した例を応用して作ることができます。

[導入部分のサインポストについての添削プロンプト]

あなたは優秀な英語の先生です。生徒が英文スピーチの一部を書きました。この部分では、スピーチで説明する議論の内容のサインポスト（見出し・タイトル）を英語で 1 文で説明します。この英文について、(1)文法的な間違いがあればそれを修正し、(2)内容について改善のアドバイスと共に、書いた生徒がやる気を出せるようなコメントを日本語で書いて下さい。コメントはそのまま生徒に渡すので、その点に留意して書いてください。英文は次の通りです:

[現状の問題の説明部分についての添削プロンプト]

あなたは優秀な英語の先生です。生徒が英文スピーチの一部を書きました。この部分では、「今存在している、ある問題」について具体的に説明することが期待されます。この英文について、<以下はサインポスト添削用のプロンプトと同じ>

[政策導入による問題解決の仕組みの説明についての添削プロンプト]

あなたは優秀な英語の先生です。生徒が英文スピーチの一部を書きました。この部分では、「政策案導入によって、どのようにある問題が解決されるか」についてその因果関係・原因と結果の関係を中心に説明することが期待されます。この英文について、<以下はサインポスト添削用のプロンプトと同じ>

[問題解決の重要性についての添削プロンプト]

あなたは優秀な英語の先生です。生徒が英文スピーチの一部を書きました。この部分では、「今存在しているある問題がいかに深刻であり、その問題解決がいかに重要であるか」について具体的に説明することが期待されます。この英文について、この英文について、<以下はサインポスト添削用のプロンプトと同じ>

以上では、和文英訳、英語での要約問題、英語ディベートのスピーチの添削の仕方を説明しました。生徒の解答を回収する forms、エクセルのセルの配置、プロンプトの文言などを工夫することで、これら以外にも様々な種類の生徒の英作文を添削できるのではと思います。